令和7年6月30日

福津市議会

議長 高山 賢二 様

市民福祉委員会

委員長 秦 浩

市民福祉委員会審査報告書

令和7年第5回福津市議会定例会において、本委員会に付託を受けておりました事件についての審査結果を、会議規則第110条の規定により次のとおり報告いたします。

記

1. 審査経過

付託年月日 令和7年6月6日
審査年月日 令和7年6月10日

2. 出席者

委員 秦委員長、中村晶代副委員長、大山委員、山本委員、戸田委員
執行部 平田市民生活部長、大庭健康福祉部長、中村こども家庭部長、
新堀税務課長、島中市民税係長

◎議案第32号 福津市税条例を改正することについて

審査内容

(1) 主な質疑及び答弁

(質疑) 改正内容に特定親族特別控除が追加されたが、本市においての対象者は、どれくらいいるのか。

(答弁) 対象となる年齢層の人の就労状況によるため、対象者数は把握できていない。

(質疑) 改正により、不利益を被ることはないか。

(答弁) 現時点で市民に不利益になることはないと認識している。

(質疑) 改正により、実質的に電子たばこの税額が上がるという理解でよいのか。

(答弁) 電子たばこ(加熱式たばこ)と紙巻きたばこの税負担差の解消となるので、電子たばこの税額が若干増税になる。

(質疑) 今回の改正について、住民税と所得税で適用される時期が違うのか。

(答弁) 住民税は翌年度課税であるため、所得税と課税の時期はずれるが、改正適用の対象となるのはどちらも令和7年分の収入からとなり、同一である。

(2) 主な意見

なし

(3) 審査結果

本委員会では、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。